

## 平成30年度 事業計画の概要

当協会は、「観光振興事業」と「コンベンション振興事業」、「県立施設の指定管理事業」を営んでいる。

平成29年度の【観光振興・自主事業】では、四国ディステーションキャンペーン（四国DC）を契機とし、県内への観光客誘致を図るため観光情報の発信を強化した「着地型旅行商品造成促進事業」や「四国DC向け旅行商品フォローアップ事業」のほか、「ときめき☆あわ旅～あわ歴史体感博2017～」などを行った。

インバウンド事業では、四国運輸局や他県観光協会、コンベンションビューロー等と連携し、中国・韓国・台湾等からの観光客やインセンティブ旅行、教育旅行などの誘致に取り組んだ。

【観光振興・県からの受託事業】では、四国DC向け二次交通機関対策として定期観光バスの運行や旅行商品を造成した旅行会社へのバス助成を行った「周遊促進！徳島観光すいすい事業」のほか、継続事業としては観光情報サイト「阿波ナビ」の維持管理を行う「観光情報システム整備事業」や海外からの教育旅行を誘致する「外国人観光客倍増推進事業」などを実施した。

【コンベンション振興事業】では、県内の主催者を対象に各種支援・助成金等を紹介する「コンベンションセミナー」の開催、継続事業としては「コンベンショントレードショー」への参加やコンベンション主催者に対する開催費等の助成を行う「コンベンション支援助成金の交付事業」などを行った。

【指定管理事業】の「アスティとくしま」及び「ときわプラザ」の運営に関しては、3期目の指定管理を平成28年度から5年間、当協会が引き続き施設の管理運営を担っている。

「安全・安心・快適」を基本方針として、利便性と利用者サービスの向上に取り組むとともに、徳島県との共催で開催した「ときめき★あわ旅～あわ歴史体感博～メインイベント 秋の阿波おどり」のほか、利用促進事業等では「アスティおどりひろば」や「阿波とくしま観光かるた大会」なども実施した。

「渦の道」と「エディ」については、平成29年度末で指定管理の契約期間が満了することから、第五期目となる指定管理者に(株)ネオビエントと共同で応募した。

なお「エディ」においては、平成29年秋から平成30年春まで休館し、360度の4KシアターやLEDデジタルアートをメインとしたリニューアル工事を実施した。

平成30年度は、「神戸・鳴門ルート全通20周年」や「第九アジア初演100周年記念」、「アスティとくま開館25周年」が周年記念を迎えるとともに、「WWAウェイクボード世界選手権大会」が開催されることから、徳島県や市町村、観光関連団体等との連携を密にしながら、積極的に観光客等の誘致に取り組む。

【観光振興の自主事業】としては、「とくしま魅力体感博2018」や「旅行AGT等サポート事業」を継続実施するとともに、新規に、「おもてなしタクシー制度の充実強化策」、「DMOなど観光諸団体等との連携強化策」、「NHK大河ドラマ誘致推進協議会の発足」などを講じるほか、賛助会員宿泊施設対象の「宿泊施設ガイド」を作成する。

インバウンド事業では、体験施設における体験手順等を多言語表示する「外国人受入態勢整備事業」に取り組むとともに、四国運輸局や他県観光協会、コンベンションビューロー等と連携し、中国・韓国・台湾等からの観光客やインセンティブ旅行、教育旅行などの誘致に取り組む。

【観光振興・県からの受託事業】としては、新規に旅行AGT等と連携し観光客を誘致する「千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業」や「世界最高の情熱！阿波おどり体感事業」のほか、昨年度に引き続き、バスを利用した旅行商品を造成した旅行会社への助成を行う「周遊促進！徳島観光すいすい事業」などを実施する。

【コンベンション振興事業】としては、コンベンション主催者に対し開催費等の助成を行う「コンベンション支援助成金の交付事業」や「コンベンショントレードショーの参加」、「コンベンションセミナーの開催」のほか、「とくしまコンベンション誘致推進協議会」加盟団体等の支援や協力による誘致活動等に取り組む。

【指定管理事業】の「アスティとくしま」及び「ときわプラザ」の運営に関しては、これまで同様「安全・安心・快適な施設運営」と「利用者サービスの向上」に努めるとともに、観光やコンベンション振興部門とも連携して、アスティとくしまへの誘致活動を積極的に進める。

また、「アスティおどりひろば」や「阿波おどり練習風景の観覧」、「阿波とくしま観光かるた大会」、「秋の阿波おどり」などの事業を継続実施するほか、アスティとくしまが開館25周年を迎えることから、記念イベントとして集客力のある著名興行を誘致・開催する。

「渦の道」と「エディ」については、これまでの指定管理期間が延長される第五期目の指定管理者に（株）ネオビエントと共同応募し、引き続き5年間施設運営を担うこととなった。なお、「エディ」においては、平成30年春のリニューアルオープンにともない、「渦の道」と連動し国内外への情報発信や旅行AGT等に対する誘致活動等を展開する。

以上を踏まえた平成30年度の具体的な事業計画は、次のとおりである。

## 観光振興事業

### 1. 自主事業

#### (1) 観光宣伝・情報発信事業

##### ① 観光情報等の発信事業

本県への観光誘客を促進するため、観光情報サイト「阿波ナビ」を活用した情報発信をはじめ、全国の徳島県人会への観光情報提供、鉄道主要駅や空港、道の駅、SA・PA等の交通結節点での観光情報の発信に取り組む。

##### ② 「とくしま観光・物産アドバイザー」制度事業

県外企業の徳島在勤の方々（支社長・支店長・支局長等）に、本県の観光や物産の魅力と素晴らしさについて知っていただき、転勤後も徳島ファンとして応援していただくため、継続して観光や物産の情報を適宜提供する。

##### ③ 観光情報誌「うずうず」作成事業

県内各地の旬の観光スポットやイベント・レジャー情報に加え、新着情報などをタイムリーに掲載した季刊誌を春・夏・秋冬に作成し配布する。

##### ④ 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア下り線の「徳島県観光情報ステーション」において、観光パンフレットやポスター等の設置、DVD映像等による観光情報の発信を行う。

##### ⑤ とくしま観光情報通信員の活用事業

県内各地の旬の観光情報やイベント情報等を、地元住民の方から直接リポートいただくため「とくしま観光情報通信員」を活用している。

これらの情報を、阿波ナビを通しタイムリーな情報発信を行うとともに、通信員数の拡大や通信員間の交流会などを実施する。

##### ⑥ 宿泊施設ガイドの作成事業 一部新規

本県の宿泊施設情報を広く発信するとともに、県内での宿泊客の増加に繋げるため、当協会賛助会員の宿泊施設を対象とした「賛助会員宿泊施設ガイド」を作成する。

##### ⑦ 四季の旅「とくしま花ごよみ」掲載事業

徳島新聞社の協力のもと、県内各地の花の名所を「四季の旅 とくしま花

ごよみ」と題して、毎月1回朝刊に掲載して広く周知を図る。

よく知られた名所のほか、新たな花のスポットや花にまつわるイベントなど、その月ならではのビューポイントを紹介して、域内交流を促進する。

⑧ 観光情報プラスワン事業

当協会には全国各地の観光客や旅行AGTなどから、観光パンフレットやマップ類の送付依頼が数多く寄せられる。

これらの資料を送付する時に、その時々旬な観光情報をプラスし、観光情報の発信に努める。

⑨ おもてなしタクシードライバー等に対する観光情報提供 新規

おもてなしタクシー制度等をより充実・強化し、観光客の本県旅行の満足度を高めるため、案内時に必要な観光諸情報を網羅した「ミニガイド」を作成し、関係個所に送付するほか、必要に応じて「観光従事者に対する観光研修会」を開催する。

⑩ 観光団体や事業者等との情報交換会の開催や魅力再発見支援事業 新規

県内のDMO組織や市町村の観光協会等との観光情報交換を密にし、新たな地元の魅力再発見や観光情報発信策、集客イベントの開催等に関する連携強化に努めることとする。

(2) 観光客誘致促進事業

**【国内誘客事業】**

① 着地型旅行商品造成促進事業

市町村やDMO等観光関連団体と連携して、既存観光資源に付加価値を付けた魅力度の向上や、三好長慶等新たな観光資源となりうるポテンシャルを秘めた素材を発掘・ブラッシュアップを図り、着地型旅行商品の開発・造成を行うとともに、商品の魅力をPRし徳島県への観光客誘致促進に努める。

② とくしま魅力体感博2018の開催

本県の魅力や素晴らしさをまるごと情報発信し、県内外からの誘客を図るため、県推進のテーマ性観光キャンペーンと連携し、文化や歴史、アクティビティや食等を紹介・誘客するとくしま魅力体感博2018を開催する。

ア. メインイベントの開催

徳島県との共催により、体感博メインイベントとして「秋の阿波おどり」を開催する。

イ. とくしま魅力体感イベント等の企画・情報発信

市町村や観光事業者等との連携により、観光客が地域の魅力を体感し、地域住民と交流できるイベント等の企画・情報発信を行う。

ウ. 県内外へのPR活動等

パンフレットやポスター等を作成し、県内外へ配布・掲載に努めるとともに、阿波ナビやマスメディア等を活用したPR活動を実施する。

③ 旅行AGT等サポート事業

旅行AGT等に対し継続的な観光情報の提供を行うとともに、国内旅行AGTによる県内視察を促進し旅行商品の造成に繋げる。

④ 四国四県観光協会連合による四国域内流動活性化事業

四国4県の観光協会が協力し、四国内での域内交流を活性化するため、商業施設でのキャンペーンやJR四国主要駅、高速道路のSA等に観光パンフレットを設置し情報発信を行う。

また、おもてなし四国を推進するため、観光客が感激したおもてなし事例を募集・選考し、表彰する「おもてなし感激大賞」事業を継続実施する。

⑤ 観光商談会等への参加事業

四国ツーリズム創造機構やJR四国等が主催する観光商談会、三旅連主催のPRキャラバン等に参加し、本県の観光情報をPRし誘客を図る。

⑥ マスコミ活用宣伝事業

情報発信効果が高いマスコミを活用し、県内の旬な観光情報や魅力あるイベント等の情報発信を行い観光客の誘致に努める。

⑦ NHK大河ドラマ誘致推進協議会の発足に向けて **新規**

NHK大河ドラマの放映による誘客効果は極めて高い。

「戦国最初の天下人 三好長慶をNHK大河ドラマに！」を実現するため、近畿・中四国エリアの三好長慶関係団体等と連携し、NHK大河ドラマ誘致推進協議会を発足させ、所要となる事業推進を図ることとする。

⑧ 花の名所づくりタイアップ事業

NPO法人蜂須賀桜と武家屋敷の会や徳島日本花の会などとタイアップして進めている、公的施設や四国遍路道沿線における蜂須賀桜等の植樹活動については今後も継続展開する。

⑨ 農漁家民宿等の情報収集と阿波ナビ掲載による誘致策の展開 **一部新規**

中山間地域の活性化に寄与するため、県内各地に広がってきた農漁家民宿を対象とした施設運営情報等を、関係市町村の協力をも得ながら収集し、阿波ナビに掲載のうえ広く情報発信し、誘客に繋げることとする。

**【訪日客誘致事業】**

① 海外からのMICE誘致等促進事業

ア. 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光と物産の魅力を発信し、本県の認知度向上を図り、訪日客誘致を図るため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱して、特使の人脈を活かした徳島県の観光PRを実施する。

イ. 四国インバウンド商談会2018への参加

四国運輸局や四国ツーリズム創造機構が主催する「四国インバウンド商談会2018」に参加し、中国・韓国・台湾・香港など、東アジア地域の旅行会社等を招請する商談会等の場を活用して訪日客の誘致を図る。

ウ. VISIT JAPAN トラベル&MICEマートへの参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」に出展し、本県の観光PRを行いインバウンド客誘致に努める。

エ. 中国・香港からの誘致

四国運輸局や四国ツーリズム創造機構、四国のコンベンション推進団体等と連携し、中国や香港からの観光客や教育旅行、インセンティブ旅行の誘致を図る。

また、徳島県および関係団体等が主催する商談会・県内視察等においては、アテンドや案内等に同行するなど受入対策にも取り組む(韓国、台湾も同様)。

オ. 韓国からの誘致

四国運輸局や香川県観光協会、高松観光コンベンションビューロー等と協力し、韓国からの観光客や教育旅行、MICE客の誘致を図る。

カ. 台湾からの誘致

四国運輸局や日本観光振興協会四国支部等と連携し、台湾での商談会出展、旅行AGTや教育旅行関係者などへの営業活動等により、台湾からの観光客や教育旅行の誘致を図るとともに、教育旅行受入時の円滑な交流を支援する。

キ. その他の国からの誘致

徳島県や四国ツーリズム創造機構と連携し、東南アジア及び世界各国の観光客や教育旅行、MICE客の誘致を図る。

(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業 一部新規

外国人の徳島観光満足度を高めるため、多言語対応の観光パンフレットの集約や発信、体験施設や観光ガイドにおける体験手順やガイドポイントの多言語表記などを支援し、外国人受入態勢の整備を図る。

② 県内における二次交通利用促進事業 一部新規

二次交通機関対策として、鉄道やフェリー、高速バス、路線バス等の既存交通機関をつなぐ周遊きっぷやフリー乗車券の発行について、交通事業者に働きかけ観光客の利便性向上を図る。

③ 観光人材育成研修支援事業

県内の観光ボランティア団体や体験型観光事業者、市町村観光担当者など、観光事業に携わる人材育成を図るための各種研修を実施する。

④ 観光案内問い合わせ活用事業

観光客やマスコミ等からの問い合わせは、観光客の動向やニーズ等が把握できる貴重なデータであるため、協会内でその情報を共有し、今後の観光振興事業に反映する。

(4) その他の事業

観光振興面で功績のあった観光事業功労者や長期勤続の観光施設優良従業員等への表彰を行うとともに、過去の被表彰者の中から（公社）日本観光振興協会四国支部表彰等に該当する適格者を推薦する。

## 2. 県からの受託事業

(1) 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業 新規

「オール徳島」で旅行需要を喚起させるため、官民一体となった「観光プロモーション」を実施し、「B to B」・「B to C」両面からの誘客活動を行う。

(2) 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業 新規

年間を通じた徳島への観光誘客を図るため、「阿波おどり」をはじめとした「あわ文化」を活用した冬期旅行商品の造成を促進する。

(3) 周遊促進！徳島観光すいすい事業

旅行会社に対し本県への旅行商品の造成と送客を働きかけるとともに、団体旅行者向けの旅行商品で、一定の要件を満たした旅行会社に対してバス助成を行う。

(4) とくしまロケーション・ブランド発信事業

映画やテレビ等のロケ誘致を行うため、撮影条件の意向に沿ったロケ地情報等の提供やエキストラの手配などを行うとともに、本県オリジナルのおもてなしの支援体制を構築する。

- (5) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業  
観光誘客を促進するため、県内外で開催されるイベントに対し、有形・無形の支援を行う。
- (6) 体験型ステップアップ事業  
体験型観光の更なる飛躍を図るため、セミナーやフォーラム等に参加するとともに、県内での受入態勢を構築するなど体験型観光のブランド化を図る。
- (7) 阿波おどり「とくしま連」運営事業  
徳島県のイメージアップを図るとともに、郷土芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行う。
- (8) 観光情報提供システム整備事業  
観光客の誘致促進や受入態勢の充実を図るため、観光情報提供サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行う。
- (9) とくしまインバウンド強化事業（教育旅行促進）  
海外の教育機関等への訪問によるプロモーションや現地教育関係者の県内視察等を通じ、本県の魅力や受入態勢をPRし本県への教育旅行誘致を図る。
- (10) 「スポーツ王国」立国事業  
県内スポーツ施設やスポーツ合宿施設等と連携し、県外の企業や大学等のスポーツ合宿誘致を行うとともに、思い出づくりづくりサポートによる徳島へのリピーター拡大を図る。
- (11) 着地型観光・コンベンション事業  
県内の着地型観光プラン等のサポートツールを作成し、旅行会社への売り込みを行うとともに、コンベンションの開催決定後のサポートを行う。

### **3. 収益事業**

- (1) 自主財源の確保  
自主事業展開に不可欠な自主財源を確保するため、賛助会員収入や有料広告収入等の収益拡大に努める。
  - ① 観光情報誌「うずうず」への広告掲載事業  
うずうずの各紙面に、広告枠を設け広告掲載を行う。



- ② とくしま花へんろカレンダー協賛及び販売事業  
とくしま花へんろカレンダーへの協賛企業を募るとともに、バラ売りでの販売を行う。
- ③ 徳島県観光ガイドマップ作成事業及び広告掲載事業  
徳島県観光ガイドマップに、広告スペースを設け広告掲載を行う。
- ④ 観光情報提供システム「阿波ナビ」トップページへの広告掲載事業  
阿波ナビのトップページに、広告スペースを設け広告掲載を行う。
- ⑤ 観光情報提供システム「阿波ナビ」詳細ページへの広告掲載事業  
阿波ナビの観光施設等掲載ページに、より詳細な情報が掲載できる箇所を設け広告掲載を行う。
- ⑥ 阿波おどりベンダー事業  
ガイドードリンコ(株)及び四国放送(株)と協力し、オリジナルの自動販売機を製作しており、その売り上げの一部を本県の観光振興に役立てる。

## (2) 旅行業推進事業

- ① 「旅行業」の推進に向けて  
徳島県の埋もれた観光資源に光を当て、着地型旅行として商品化を模索し徳島県全体の観光振興底上げを図る。

## コンベンション振興事業

### 1. コンベンション振興事業

- (1) 情報発信事業  
本県へのコンベンション誘致を積極的に推進するため、各種商談会への出展や情報発信などを行う。
  - ① コンベンショントレードショーへの参加
    - ア. 国際MICEエキスポへの参加  
商談会形式の「国際MICEエキスポ」に出展し、国内外の会議主催者やキーパーソンに対して、施設・ホテル情報や各種支援案内・提案等を行ない、本県へのコンベンション誘致に努める。

イ. 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区のコンベンション推進団体と協力し、懇談会へ参加し、本県で開催の可能性がある主催団体に向けたPRと誘致に努める。

ウ. 大阪MICEデスティネーションショーケースへの参加

大阪観光局主催の「大阪MICEデスティネーションショーケース」に参加し、国内外MICE主催団体に対して「関西プラス徳島」のルート提案し誘客に努める。

② 情報誌の作成及びホームページでの情報発信事業

当協会発行の観光協会だよりに各種コンベンション情報を掲載するほか、コンベンション事業部のホームページによる情報発信とPRに努める。

③ コンベンションセミナーの開催

県内の主催者を対象に各種支援・助成金等を紹介する「コンベンションセミナー」を開催し、本県へのコンベンション誘致のためのプログラムを紹介し誘致促進に努める。

(2) 誘致対策事業

① 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」事業

コンベンション誘致による地域経済効果が極めて高いことから設立した産官学民総連携の「とくしまコンベンション誘致推進協議会」を活かした誘致活動を積極的に推進する。

② 全国コンベンション誘致促進事業

全国規模のMICE誘致促進を図るため、主催者側で開催の決定権を有する責任者など（キーパーソン）がコンベンション施設等の視察を希望する場合は、積極的な受入支援を行う。

(3) 受入支援事業

① コンベンション支援助成金の交付事業

対象要件を満たすコンベンション主催者に対し開催費を助成するほか、郷土芸能等のアトラクション助成やシャトルバス運行等の助成を行う。

さらに、延べ1000泊以上のコンベンションについては、県立施設の使用料相当額を助成する。

② 主要観光施設の紹介及び割引制度の提供事業 一部新規

コンベンション参加者に対して、県内観光地の優待割引制度やタクシープラン、飲食店等を紹介した資料を提供し、県内での滞在時間拡大や広域周遊を働きかける。また、新たなプランを利用者目線で拡充する。

③ 歓迎看板の設置事業

参加者が500名以上の全国規模コンベンション開催時は、徳島阿波おどり空港及びJR徳島駅に歓迎看板を設置する。

また、大規模なコンベンション開催時には、街を挙げての歓迎ムードを高めるため、ホテル・飲食店等の入り口に歓迎ポスターを掲示する。

④ 大規模コンベンション開催情報発信事業

コンベンション情報を、メディアや観光、宿泊、飲食、土産などの関連団体にFAX等で幅広く広報し、県外客のスムーズな受け入れを行う。

⑤ コンgressバックの提供事業

コンベンション開催時に、当協会作成のコンgressバックに大会名等を記載し、安価に提供するなど、コンベンション参加者の利便性を高める。

⑥ 戦略的MICE誘致事業 一部新規

参加者向けの各種ツールの魅力度向上を図るとともに、主催者向けに阿波おどり、阿波人形浄瑠璃以外にも新たなアトラクションを提案することにより、本県ならではのおもてなしプランを拡充する。

⑦ MICEおもてなし事業

観光振興部門と連携し、大規模コンベンション開催時には観光PRブースを設置し案内を行なうことにより、観光振興の一助とするほか、観光ボランティアガイドツアーの紹介により参加者の満足度を高める。

また、徳島ならではの「おもてなしプラン」を拡充する。

(4) 各種情報の収集と提供事業

国内・国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コンgress・コンベンションビューロー）等のノウハウや諸情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携して、開催計画などの情報収集と意向調査に努める。

また、本県の観光や食、伝統芸能など魅力あるアフターコンベンション情報を主催者に対する確に発信するとともに、主催者側発行のパンフレット類への掲載依頼をすることで、県内での滞在日数や周遊箇所数の拡大に努める。

## 1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

### （1）指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった3年目であり、これまで同様に「安全・安心・快適」を基本方針として、利用者の声を常に伺いながら、利便性と利用者サービスの向上に引き続き取り組むとともに、さらなる業務能率の向上や効率化を推進する。

また、観光やコンベンション振興部門を含めた協会の総力をあげ、アスティとくしまの使用料収入増と稼働率向上を図る。

同時に、利用促進を目的とした事業等を積極的に開催し、徳島の魅力を発信する拠点として、にぎわいづくりや地域の活性化を図る。

### （2）館内設備の維持更新等

館内設備については、定期的な点検により故障や事故の未然防止に努める。

設備の維持・修繕については、経年劣化状況に加え、安全性とコストの両面から優先度を決定し、県との事前協議を綿密に行いながら効率的かつ効果的に実施する。

また、主催者及び来場者アンケートによるご要望を取り入れ、利用者サービスの向上施策に繋がるものについては積極的に導入を進める。

### （3）利用促進事業

#### ① 大会・会議等の誘致事業

コンベンション振興部門と連携し、「国際MICEエキスポ」、「中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会」等に参加し、当施設の規模や開催地域に当てはまる可能性が高い大会や会議、学会など様々な催しの誘致に努める。

また、コンベンション助成制度や閑散期減免制度を活用し、経済効果の高い学会や大会等の誘致活動を行い、地域の発展と観光等の振興に寄与する。

#### ② 地元企業及び学校関係の会合、芸術・文化イベントの誘致

県内企業の商談会・商品説明会、学校・各種団体の会合、芸術・文化イベントの開催等、多目的ホール・会議室等の利用促進を図るため、積極的な営業活動を行う。

③ アスティおどりひろば（県指定事業）

8月12日からの4日間、阿波おどり期間中の昼間対策として、県内有名連による阿波おどりの上演と阿波おどり体験の場として提供する。

特産品コーナーをさらに充実させ、好評の阿波おどり浴衣着付け体験等のイベントを紹介するリーフレットを早期に作成・配布し、旅行会社等への積極的なPR活動を行い、本県阿波おどりの魅力度向上と県内外客の誘致に努める。

④ 秋の阿波おどり

平成20年度から継続開催している「秋の阿波おどり“阿波おどり大絵巻”」を、11月2日（金）から4日（日）までの3日間開催する。

有名連による阿波おどりや阿波人形浄瑠璃、阿波木偶三番叟まわし等伝統芸能に加え、各種工芸体験や県内市町村の観光・特産品販売ブース、飲食グルメブース等の内容を充実させ、これらを全国に情報発信して、交流人口の拡大やにぎわいの創出による地域の活性化に繋げることとする。

また、開催に先立ち、県外旅行エージェントへの積極的な誘客営業活動や各種メディア等に対し誘客キャンペーンを展開する。

⑤ 阿波とくしま観光かるた大会

本県の将来を担う子どもたちに、郷土の伝統や文化、自然などのすばらしさを楽しく学び、郷土愛を育てて頂く目的で開催している当大会については、毎回出場者が増えていることから、「第9回阿波とくしま観光かるた大会」として継続開催する。

⑥ 明日亭徳島落語会

地域の方々に親しまれる施設を目指し実施している新春の落語会を、その他の伝統芸能等も取り入れながら「第15回明日亭徳島新春寄席」として継続開催し、にぎわいの創出や伝統文化の振興を図る。

⑦ とくしま花のある風景フォトコンテスト事業

本県の美しい花の名所を写した作品を募り、広く周知する目的で開催し好評を博している「第12回とくしま花のある風景フォトコンテスト」を継続開催する。

また、応募作品については、ふれあい広場において、入賞作品を含む応募者の作品1名1点ずつを掲出した、「とくしま花のある風景写真パネル展」を併せて実施することで、広く周知と集客を図る。

⑧ アスティとくしま開館25周年記念イベント 新規

アスティでのコンサート等開催時には、約3,000～5,000名の集客があり、県内客のほか観劇プラス観光目的の県外客が多数訪れ、宿泊や飲食施設、観光施設等への経済波及効果をもたらしている。

今年度は開館25周年に当たることから、館の設置目的でもある交流人口の拡大と観光振興に寄与することを目指し、集客力のある著名な興行イベントを開館25周年イベントとして誘致・開催する。

⑨ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

天候に左右されない多目的ホールの空き日を、「はな・はるフェスタ」及び「夏本番の阿波踊り」の練習場所として継続提供し、郷土芸能の発展と普及をサポートするとともに、練習風景の観覧情報をマスコミや市内宿泊施設等に発信し、にぎわいの創出やおもてなしの向上に努める。

⑩ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場は、県や市町村等と連携し、各地域のタイムリーな話題や観光情報を提供する場としているが、引き続き、各地域のイベント開催情報や旬の観光情報発信の場として活用し、県内各地のPR効果を高める。

⑪ 環境対応施策

今年度もゴーヤ等による緑のカーテンの設置をはじめ、構内緑地の維持に努めるとともに、クールビズやウォームビズの対応に引き続き取り組む。

また、照明器具等を適宜照度効率の高いLED球に交換する等、節電対策を図る。

⑫ その他

予約管理システムやアスティとくしまホームページ等は、更なる利用者サービスの向上を図るため適宜情報更新・改良することで、より利便性の高い施設づくりに努める。

(4) 自主事業

① ワールドカップサッカー日本戦パブリックビューイング 新規

6月・7月に、ロシアで開催される「2018 ワールドカップ大会」の日本代表戦を、当施設の大型映像を活用してサポーターと共に応援する「パブリックビューイング」を開催し、にぎわいの創出やスポーツ振興を図る。

(多目的ホールの利用状況、開催時間等によって、開催不可になる場合もある。)

② 徳島ヴォルティスJ1昇格試合 パブリックビューイング 新規

徳島ヴォルティスのJ1への再昇格を願い、多目的ホールの空き日を利用して、アウェイ戦のパブリックビューイングを開催し、県民と一体となって応援する。

(多目的ホールの利用状況等によって、開催不可になる場合もある。)

## **2. 徳島県立男女共同参画交流センター（ときわプラザ）の管理運営事業**

ときわプラザも、当協会が継続して管理運営を担うこととなった3年目であり、「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくりを第一義とし、「人・物・情報」の交流拠点を目指し、利用者サービスの向上に取り組む。

また、関係者等との連携を密にしながら、アスティとくしまを含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホールや研修室等の利用率向上に努める。

## **3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業**

渦の道と大鳴門橋架橋記念館については、第五期目（平成30年度から5年間）も、引き続き、(株)ネオビエントと共同で県から受託するとともに、更なる「顧客満足度の向上を目指し」取り組む。

なお、エディにおいては、平成30年3月21日にリニューアルオープンすることから、渦の道と連動し国内外への情報発信や旅行AGT等に対する誘致活動を行うとともに、多彩な自主事業を展開し「両施設の利用促進」に取り組み入館者数の拡大に努める。